

議第5号 令和7年度福知山市一般会計補正予算(第3号)の組み替えを求める動議

上記動議を下記のとおり提出する。

令和7年6月25日

提 出 者	福知山市議会議員	水 谷 タツヤ
〃	〃	荒 川 浩 司
〃	〃	小 原 彰 紀

(提案理由)

議第5号令和7年度福知山市一般会計補正予算(第3号)において、新型コロナウイルスワクチン接種事業に関する経費には、ワクチン定期接種体制の維持及び65歳以上の高齢者や障害がある方に対して、本市独自の助成制度による接種費用の補助経費が計上されている。

しかしながら、当該事業については、すでに国において公費助成が終了し、自己負担による接種に移行したものであり、引き続き自治体として独自に公費を投入して接種体制を維持することの妥当性について、十分な議論と整理がなされたとは言えない。

また、ワクチンの感染予防効果に関しては、当初の政府見解と比べ、現在ではその効果が限定的であることが専門家からも示されている。加えて、接種後の健康被害に関する厚生労働省のデータによれば、他のワクチンと比べて著しく多い認定件数や死亡件数が挙げられており、接種を希望される市民にとってもこれらの正確な情報とリスクを踏まえた判断が必要な段階にある。

このような状況下において、市が引き続き接種事業を推進するための予算措置を講ずることは、市民の自己判断を尊重するという観点からも慎重であるべきである。

以上のことから、当該ワクチン接種事業に関する経費については、一度予算から削除のうえ、事業の必要性等を再検討されたい。

よって、本新型コロナウイルスワクチン接種事業に関する経費、58,739千円については、すべて削除されることを求める。